



開倫ユネスコ協会 NewsLetter

第74号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2012年11月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

関東ブロックユネスコ研究会・つくば

2012年10月13～14日。茨城県つくば市で関東ブロックユネスコ研究会が開催されました。「世界遺産40年の歩みと展望」と題し、筑波大学大学院の日高健一郎先生が、世界遺産条約の誕生、危機遺産と遺産の危機、世界遺産と平和について基調講演しました。これを受けてパネルディスカッションでは、結城紬や日立風流物（おまつりの山車）についての取り組みや足利学校が世界遺産への登録に向けた取り組みが紹介されました。また、日光ユネスコ協会から、世界遺産となってからの各種調査を若者と一緒に取り組んでいる話などがありました。世界遺産に登録されるまでの努力もさることながら、登録後も守っていくためのさまざまな苦労があることや守ることも大切な仕事であるということも考えさせられました。

次の日の分科会では、大学生などの若者との連携活動も視野に入れ、次世代へ受け継ぐパイプをつくっていくことが大切であることなどが提案されました。また、世界寺子屋運動で、ネパールに学校を作る支援をしているひたちなかユネスコ協会の取り組みが紹介されました。と同時に支援を受けているネパールの校長先生の話もきくことができとても有意義な会となりました。



開会セレモニー



基調講演の様子



閉会セレモニー



分科会の様子